

多部田直樹『ミクロ経済学』（成文堂、2012年）

正誤表

箇所	誤	正
4頁、1行目	効率化はかる	効率化をはかる
10頁、11行目	という主張	と主張
11頁、脚注7	良いと	良いかと
12頁、脚注12	10年数年	10数年
13頁、14行目	大学経済学部	大学の経済学部
33頁、25行目	出されて経済学	出された経済学
53頁、脚注	教科でした。	教科書でした
65頁、図2-14(b)	急な傾き⇒価格弾力的	急な傾き⇒価格非弾力的
69頁、脚注15	需要曲線が曲線で	需要曲線が直線で
90頁、14行目	$Y_t = Y_1 + b t$	$Y_t = Y_0 + b t$
119頁、脚注9	矛盾なく節恵美	矛盾なく説明
158頁、5行目	を前提しましよ	を前提としましよ
183頁、8行目	がでます。	ができます。
184頁、15行目	下に凸	上に凸
187頁、脚注4	Kを置き換える	Kと置き換える
199頁、図4-7	B（変曲点）A	B（変曲点）
224頁、16行目	平均総費用は1600万ドル	総費用は2100万ドル
233頁、11行目	完全競争)	完全競争
234頁、27行目	日本的商的慣行	日本的商慣行
237頁、16行目	出すこと場合も	出す場合も
237頁、脚注8	#rd ed.	3rd ed.
301頁、1行目	市市場 B	市場 B
315頁、14行目	のどの位置	どの位置
325頁、10行目	ここで、もし Y=	文中 Y=を削除

解答の追加

344頁の問題3（2）

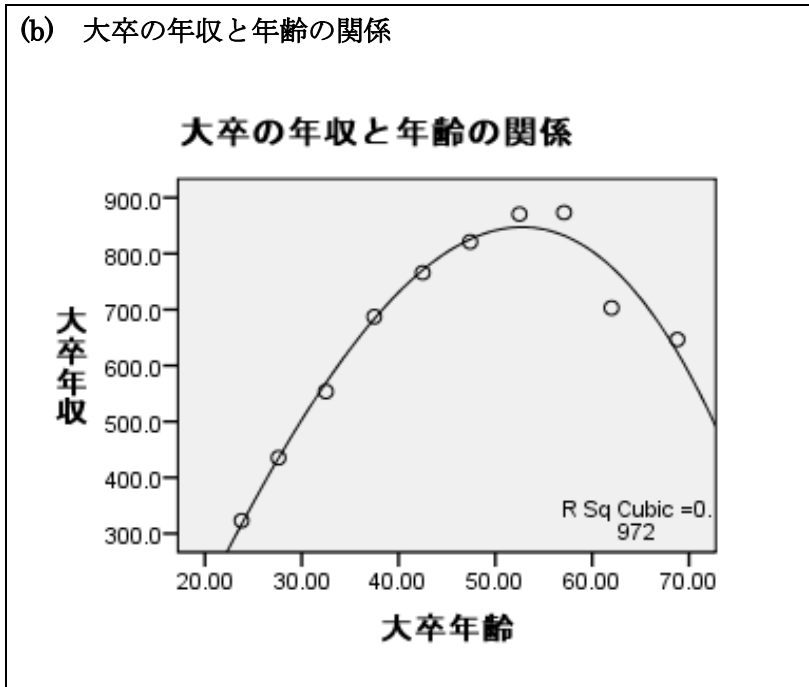
大卒で1000人以上の大企業に就職した場合と999~100人の規模の企業に就職した場合の生涯所得の差は3622万円（=3億3464万円 - 2億9842万円）と計算されます。

図の訂正

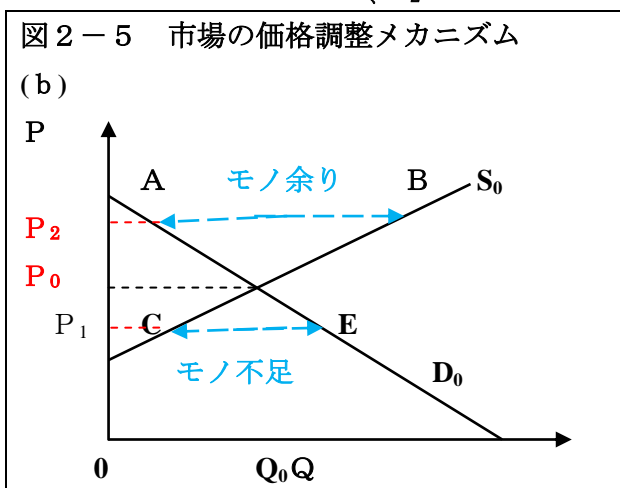
29 頁 (グラフの差し替え)

付図 1-1 最終学歴別年収と年齢の関係

(b) 大卒の年収と年齢の関係



49 頁 (図 2 - 5 (b) に P_0 、 P_2 を加える。赤字が訂正箇所。)



60 頁 (図 2 - 10 P_3 、 P_4 の位置を変更。赤字が訂正箇所)

